

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年5月2日(2025.5.2)

【公開番号】特開2025-61750(P2025-61750A)

【公開日】令和7年4月11日(2025.4.11)

【年通号数】公開公報(特許)2025-066

【出願番号】特願2025-9658(P2025-9658)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

10

【F I】

A 6 1 F 2/16

【手続補正書】

【提出日】令和7年4月23日(2025.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

調節可能な眼内レンズ(A I O L)であって、基部を備え、前記基部は、光学度数を実質的にもたらさないように構成された第1の光学構成要素と、光学度数を実質的にもたらさないように構成された第2の光学構成要素と、流体で充填されたチャンバと

を有し、前記流体で充填されたチャンバは、前記第1の光学構成要素と前記第2の光学構成要素との間にあり、前記流体で充填されたチャンバは、調節可能なレンズを画定し、前記調節可能なレンズは、前記基部に対する力の変化に反応して、前記第1の光学構成要素および/または前記第2の光学構成要素が撓曲することにより、前記流体で充填されたチャンバ内の流体の体積を変化させることによって、光学度数を変化させるように構成され

30

前記基部は、前記基部に取り外し可能に結合されるように構成された交換可能な固定力レンズを受け取るように構成され、前記固定力レンズは、前記固定力レンズが前記基部によって受け取られたときに前記調節可能なレンズの前方に位置付けられる、A I O L。

【請求項2】

前記調節可能なレンズの前後厚は、前記基部に対する前記力の変化に応答して変化する、請求項1に記載のA I O L。

【請求項3】

前記基部は、前記固定力レンズが前記基部に結合されるときに前記固定力レンズの少なくとも一部を受け取るように構成された溝を含む、請求項1に記載のA I O L。

40

【請求項4】

前記基部は、前記第1の光学構成要素および前記第2の光学構成要素の周囲で円周方向に延在する触覚構造を含み、前記触覚構造は、前記調節可能なレンズの前記光学度数の前記変化をもたらす前記力の変化を受けるように構成されている、請求項1に記載のA I O L。

【請求項5】

前記触覚構造は、前記流体で充填されたチャンバと流体連通する流体リザーバを画定し、前記触覚構造は、前記触覚構造に対する前記力の変化に応答して、前記流体リザーバと前記流体で充填されたチャンバとの間で流体を再分布させるように構成されている、請求項

50

4に記載のA I O L。**【請求項 6】**

前記第1の光学構成要素および／または前記第2の光学構成要素は、曲率を有し、前記第1の光学構成要素および／または前記第2の光学構成要素の前記撓曲は、前記流体で充填されたチャンバ内の流体の前記変化させられた体積に応答して、前記第1の光学構成要素および／または前記第2の光学構成要素の前記曲率を変化させる、請求項1に記載のA I O L。

**【請求項 7】**

前記固定力レンズをさらに備える、請求項1に記載のA I O L。

**【請求項 8】**

前記基部は、前記基部が個人の眼の本来の眼の囊内に移植されている間に、前記固定力レンズが前記基部に結合され、前記基部から結合解除されることを可能にするように構成されている、請求項1に記載のA I O L。

10

**【請求項 9】**

調節可能な眼内レンズ(A I O L)であって、基部を備え、前記基部は、光学度数を実質的にもたらさないように構成された第1の光学構成要素と、光学度数を実質的にもたらさないように構成された第2の光学構成要素と、前記第1の光学構成要素と前記第2の光学構成要素との間の光学チャンバとを有し、前記光学チャンバは、流体調節可能なレンズを画定し、前記流体調節可能なレンズは、前記基部に対する力の変化に反応して、その曲率を変化させ、これにより、前記A I O Lの光学度数に対する対応する変化をもたらすように構成され、前記基部は、前記基部に取り外し可能に結合されるように構成された交換可能な固定力レンズを受け取るように構成され、前記固定力レンズは、前記固定力レンズが前記基部に結合されたときに前記流体調節可能なレンズの前方に位置付けられる、A I O L。

20

**【請求項 10】**

前記流体調節可能なレンズの前後厚は、前記基部に対する前記力の変化に応答して変化する、請求項9に記載のA I O L。

**【請求項 11】**

前記基部は、前記第1の光学構成要素および前記第2の光学構成要素の周囲で円周方向に延在する触覚構造を含み、前記触覚構造は、前記流体調節可能なレンズの前記光学度数の前記変化をもたらす前記力の変化を受けるように構成されている、請求項9に記載のA I O L。

30

**【請求項 12】**

前記触覚構造は、前記光学チャンバと流体連通する流体リザーバを画定し、前記触覚構造は、前記触覚構造に対する前記力の変化に応答して、前記流体リザーバと前記光学チャンバとの間で流体を再分布させるように構成されている、請求項11に記載のA I O L。

**【請求項 13】**

前記固定力レンズをさらに備える、請求項9に記載のA I O L。

**【請求項 14】**

前記基部は、前記基部が個人の眼の本来の眼の囊内に移植されている間に、前記固定力レンズが前記基部に結合され、前記基部から結合解除されることを可能にするように構成されている、請求項9に記載のA I O L。

40

**【請求項 15】**

調節可能な眼内レンズ(A I O L)であって、基部を備え、前記基部は、光学度数を実質的にもたらさないように構成された第1の光学構成要素と、前記基部の光学軸に沿って前記第1の光学構成要素から離間されている第2の光学構成要素であって、光学度数を実質的にもたらさないように構成されている第2の光学構成要素と、前記第1の光学構成要素と前記第2の光学構成要素との間の流体とを有し、前記流体は、光学度数を提供する形状を有し、前記第1の光学構成要素および／

50

または前記第2の光学構成要素は、前記基部に対する力の変化に応答して、それらの間の前記流体の前記形状に対する変化をもたらし、これにより、前記流体によって提供される前記光学度数を変化させるように構成され、

前記基部は、前記基部に取り外し可能に結合されるように構成された交換可能な固定力レンズを受け取るように構成され、前記固定力レンズは、前記固定力レンズが前記基部に結合されたときに前記基部の前方に位置付けられる、A I O L。

【請求項16】

前記流体の前記形状は、曲率を含み、前記形状に対する前記変化は、前記基部に対する前記力の変化に応答した前記流体の前記曲率に対する変化を含む、請求項15に記載のA I O L。

10

【請求項17】

前記基部は、前記第1の光学構成要素と前記第2の光学構成要素との間の光学チャンバを含み、前記光学チャンバは、前記流体の前記形状を少なくとも部分的に画定する体積を有し、前記光学チャンバの前記体積は、前記第1の光学構成要素および前記第2の光学構成要素が相互に対し移動するときに変化する、請求項15に記載のA I O L。

【請求項18】

前記固定力レンズをさらに備える、請求項15に記載のA I O L。

【請求項19】

前記基部は、前記基部が個人の眼の本来の眼の囊内に移植されている間に、前記固定力レンズが前記基部に結合され、前記基部から結合解除されることを可能にするように構成されている、請求項15に記載のA I O L。

20

【請求項20】

前記力の変化に応答して、前記第1の光学構成要素の少なくとも第1の部分および/または前記第2の光学構成要素の少なくとも第2の部分は、前記流体の前記形状に対する前記変化をもたらすように前記光学軸に沿って移動するように構成されている、請求項15に記載のA I O L。

30

40

50